

緊急消防援助隊情報

無償使用制度を活用して配備する緊急消防援助隊用車両（平成23年度補正予算分）の概要

広域応援室

1. はじめに

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における全国の消防機関相互による迅速な援助体制として、平成7年6月に創設されました。そして、平成15年の消防組織法改正で、その位置付けが法律上明確にされるとともに、消防用の国有財産又は国有の物品を緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償で利用させることができることとされました（第50条）。

消防庁では、緊急消防援助隊の活動に必要な装備等のうち、地方公共団体による整備が費用対効果の面から非効率的なものについて、この無償使用制度を活用し、各都道府県の代表消防機関等へ全国的に配備しています。

今回は、東日本大震災の経験を踏まえ、この無償使用制度を活用して平成24年度末までに配備する車両として、平成23年度第三次補正予算により整備する4種類の後方支援部隊用車両を御紹介します。

2. 配備車両について

(1) 「人員輸送車」(47台)

緊急消防援助隊で活動する隊員の輸送に用いる車両です。

最大21人の人員輸送が可能であるほか、車両後部の積載スペース及び車両上部のルーフラックを活用し、資機材の搬送をすることもできます。



外観（車両前方）



外観（車両後方）



車内

【人員輸送車】 車両の主要寸法等

| | |
|-------|---------|
| 全長 | 6,290mm |
| 全幅 | 2,030mm |
| 全高 | 2,900mm |
| 車両総重量 | 4,745kg |
| 乗車定員 | 21名 |
| 総排気量 | 4,009cc |

(2) 資機材搬送車 (46台)

緊急消防援助隊の活動において必要となる資機材を搬送する車両です。

荷台床面部分をアルミ製とし、資機材の汚損を防ぐとともに、ラッシングレールの敷設により積載した資機材を容易に固定することができます。また、パワーゲートを装備しており、重量のある資機材を容易に積み下ろすことができます。



外観（車両前方）



外観（車両後方）



外観

【資機材搬送車】 車両の主要寸法等

| | |
|-------|---------|
| 全長 | 7,010mm |
| 全幅 | 2,200mm |
| 全高 | 3,230mm |
| 車両総重量 | 7,595kg |
| 乗車定員 | 3名 |
| 総排気量 | 2,998cc |



(3)「燃料補給車」(30台)

被災地において活動する全ての消防車両(軽油燃料車)を対象に燃料補給活動を行う車両です。

指定数量(1キロリットル)未満の軽油を貯蔵し、車両に直接給油することができる設備を有しています。



外観(車両側面)

操作パネル

【燃料補給車】 車両の主要寸法等

| | |
|-------|---------|
| 全長 | 4,690mm |
| 全幅 | 1,690mm |
| 全高 | 2,250mm |
| 車両総重量 | 4,065kg |
| 乗車定員 | 3名 |
| 総排気量 | 2,998cc |

(4)「支援車Ⅰ型」(17台)

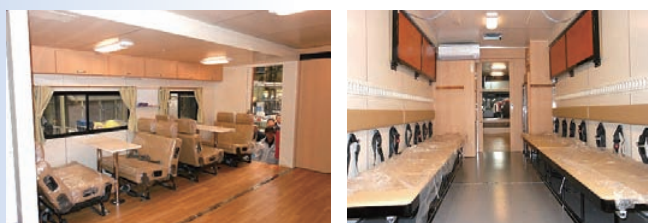
大規模災害や特殊災害発生時において、長期間にわたる消防活動の後方支援を目的とする車両です。

ボディが拡幅する機能を有し、トイレ、シャワー及び固定式小型厨房等を装備するとともに、各種災害に対応した資機材を積載しています。資機材収納室を補助席として転用することにより、最大26名の乗車が可能となります。



外観(車両前方)

外観(車両後部)



車内(居室)

車内(資機材収納室)



外観(車両側面)

【支援車Ⅰ型】 車両の主要寸法等

| | |
|-------|-------------|
| 全長 | 10,980mm |
| 全幅 | 2,490mm |
| 全高 | 3,560mm |
| 車両総重量 | 19,950kg |
| 乗車定員 | 26名(補助席使用時) |
| 総排気量 | 9,839cc |

主な積載品

【災害用テント】

| | |
|----------------|--------|
| テント(内幕・防虫ネット付) | 3張 |
| 収容人員 | 8人(1張) |
| 冷暖房装置 | 各1式 |
| バッテリーユニット | 1式 |
| 室内灯 | 12本 |

【その他付属品】

| | |
|---------------|-----|
| 発電機 | 3台 |
| 簡易トイレ(簡易テント付) | 5式 |
| 寝袋 | 20個 |
| バルーン型投光器 | 2個 |
| エアーマット | 3個 |
| 折り畳み式リヤカー | 3台 |
| 資機材コンテナ | 6台 |



外観



資機材コンテナ



折り畳み式リヤカー

3. おわりに

緊急消防援助隊については、東日本大震災における被害や活動状況等を踏まえ、今後発生が懸念されている南海トラフの巨大地震、首都直下地震等の大規模災害に備えた、更なる機能強化が求められています。

消防庁では、引き続き、国庫補助(消防組織法第49条第2項)及び無償使用制度を活用し、緊急消防援助隊の装備等の充実強化に取り組んでまいりますので、各登録消防本部におかれましては、大規模災害発生に際し、緊急消防援助隊として迅速に出動できる体制作りにご配慮いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先

消防庁防災課 広域応援室 施設係
TEL: 03-5253-7527